

# 2022.

ウクライナ・コンゴ危機緊急支援

認定NPO法人テラ・ルネッサンス

# 3.15-





# ウクライナ・コンゴ危機 緊急支援

— 中間報告レポート — 2022年7月1日 認定NPO法人テラ・ルネッサンス 理事長 小川真吾

## ウクライナ・コンゴ危機緊急支援を実施するに至った背景

2022年2月24日、ロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻が開始され、多くの市民が被害に遭い、避難を余儀なくされています。20年以上、アジア・アフリカで紛争の被害を受けた人々の支援を続けてきたテラ・ルネッサンスにとって、ウクライナ危機はとて他人事とは思えませんでした。そこで、ウクライナの隣国ハンガリーにスタッフ合計3名を先遣隊として派遣。ロシアの軍事侵攻を逃れたウクライナ難民・避難民の調査および緊急支援を実施することを決定しました。同時に、ウクライナ危機に国際的な注目が集まる中、関心と支援が薄れていく世界各地の紛争にも、目を向けてもらいたい。そこで、特に、長きに渡る紛争で、多くの「いのち」が危険にさらされているコンゴ民主共和国での支援の必要性も訴えることにしました。2022年3月15日より「ウクライナ・コンゴ危機緊急支援」を実施し、7月31日まで緊急支援のための活動資金4,000万円の寄付を呼びかけています。おかげさまで、7月26日時点では、1,180名から4,532万円のあたたかいご支援をいただき、現地での活動を続けることができています。

### ウクライナ危機緊急支援・活動報告

#### テラ・ルネッサンスらしい緊急支援とは何か？

2022年3月17日に、ウクライナの隣国ハンガリーへ先遣隊として吉田(写真左)と佐々木(写真右)が到着。現地パートナーの協力のもと、首都ブダペストの主要駅や国境地域に開設された支援センター、難民を受け入れている教会や公共施設などを視察し、物資等の緊急支援を行いながら、現場のニーズ調査を実施しました。その後、アフリカから理事長の小川も合流し、3名体制で活動。ハンガリーに逃れてきている難民だけでなく、ハンガリー国境近くのウクライナ西部に留まる国内避難民にも支援ニーズがありそうだと判断し、ウクライナにも入国。さらなる調査と支援を重ねました。

現地の調査で分かったことは、難民・避難民と言ってもその実態は多様で、これだけ世界中から関心と支援が集まっても「取り残されている人々がいる」ということでした。先遣隊として現地の状況を見てきた佐々木は、次のように語りました。



「テラ・ルネッサンスらしい緊急支援とは何か、自分たちだからこそできることは何か、この2点に集中して情報収集・調査を行った結果、『取り残されている人々』に辿り着きました。それは、ハンガリー国内の国境近くに留まる少数民族ロマの人々や、ウクライナ西部トランスカルパチア地方に集中する国内避難民と、彼ら・彼女らを受け入れ支援するホストコミュニティの人々でした。支援が行き届いていないばかりか、世間の関心も薄く、まるで忘れ去られているかのようでした。」

これまで私たちは、アジア・アフリカの活動において「最も脆弱な人々」に支援を届けてきました。今回の緊急支援でも、地道にそして綿密に調査を行った結果、本当に支援を必要としている人たちに辿り着くことができました。5月よりハンガリーに事務所を開設し、「誰ひとり取り残さない支援」を目指して、特に支援の手が届いていない脆弱な難民・避難民に対する支援活動を開始しました。



### ウクライナ難民・避難民への緊急支援

#### 生活支援・CSCs — 「誰ひとり取り残さない支援」を目指して—

対象地域	ハンガリー国内のウクライナ国境沿い地域、ウクライナ国内の西部地域
対象者	ハンガリーに逃れてきているウクライナ難民・ウクライナ西部に逃れてきているウクライナ避難民のうち脆弱な人々、避難民を受け入れているウクライナ西部のホストコミュニティなど
支援期間	2022年3月～2023年3月(延長する可能性があります。)
支援内容	<b>1) 生活支援</b> 食料・日用品の提供、炊き出し拠点(キッチンポイント)の整備、避難場所・倉庫の整備、子どもの教育・心理社会支援 <b>2) CSCs(Cash for Social Contributions) ～社会貢献型現金給付支援～*</b> 炊き出し作業(週2回)、演劇の披露(難民の子どもたちへ)、支援物資を保管する倉庫等の清掃・整理作業、手工芸・伝統刺繍の製作(※CSCsとは...対象者の主体性を最大限尊重し、その人のできる <b>社会貢献(モノ作りやサービスの提供)の機会を提供し、現金を給付する支援</b> 。それにより当人の生活を支えるとともに、周囲の人々にモノやサービスを提供する支援のこと。上記を仕事として難民の方々に提供し、収入を得ていただく。



[1] 子どもの教育・心理社会支援のために、おもちゃなどを提供したときの様子。  
[2] 避難民の方々へ提供される炊き出しの様子。  
[3] 炊き出し施設に冷蔵庫などを整備する様子。  
[4] シャボン玉をつかった演劇を披露する難民の夫婦と熱狂する子どもたち。  
[5] CSCsの活動で避難している地域の清掃を担うウクライナの若者たち。

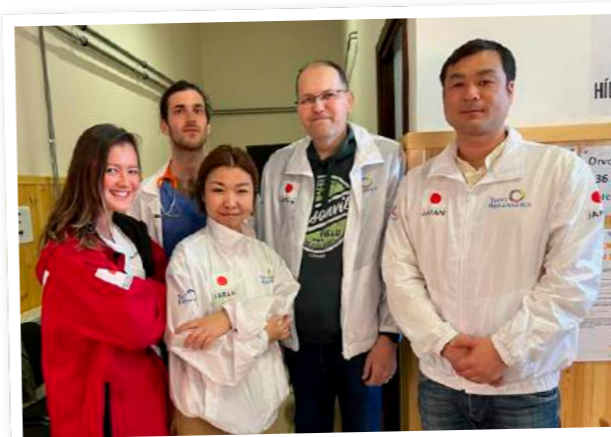




# 1.

## 難民・国内避難民の状況

ウクライナ危機による難民はおおよそ500万人、国内避難民は710万人におよぶと言われています\*。隣国のハンガリーへ逃れた難民の多くは、西ヨーロッパの国々を目指して国境を渡っています。(出典:UNHCR 5月2日時点)



# 2.

## 先遣隊による支援の“ニーズ調査”

3月17日から佐々木・吉田が、4月からはアフリカから理事長の小川が合流し、現地協力者のコーシャ(後の現場責任者)とともに、支援を行っているポイントをめぐりニーズ調査を行いました。ハンガリー内にはある程度の支援体制が整っている一方で、少数民族ロマ系の人々や、ウクライナ西部に避難する国内避難民など、支援が届きにくい人々の存在が明らかになりました。





### 3.

#### 現地パートナー 聖パンテレイモン・ギリシャカトリックカリタス

現地パートナーの聖パンテレイモン・ギリシャカトリックカリタスは、国境を超えずウクライナ西部で避難を続ける人々と、その国内避難民を受け入れるホストファミリーへ食糧支援を行っています。食料の調達、分配、輸送に使う車両の購入費用を支援しました。

### 4.

#### 避難生活をおくる子どもたちへの支援

避難所には多くの子どもたちの姿が見られます。長期の避難生活となると子どもたちの教育や心のケアなどの観点から、本や遊具などの支援も重要だと考えています。





## 5.

### 生活支援① 食料・生活用品の支給

テラ・ルネッサンスでは、ウクライナ西部やハンガリーの国境地域で、週一回ペースでニーズを聞き取り、物資を支援しています。食料品や日用品、薬等の調達、運搬、供与までの一連の支援を行っています。

## 6.

### 生活支援② 避難所の設備の支援

ウクライナ難民・避難民の方々が、最低限の生活を避難所でも続けられるように、施設設備の支援を行っています。避難場所に洗濯機、乾燥機、シャワー室、ボイラーなどを設置したり、炊き出しを行うキッチンポイントやランドリーポイントの建設も進んでいます。





## 7.

### 社会貢献型現金給付支援(CSCs)

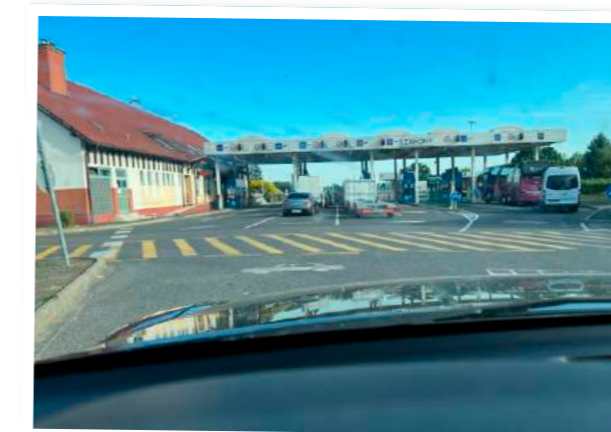
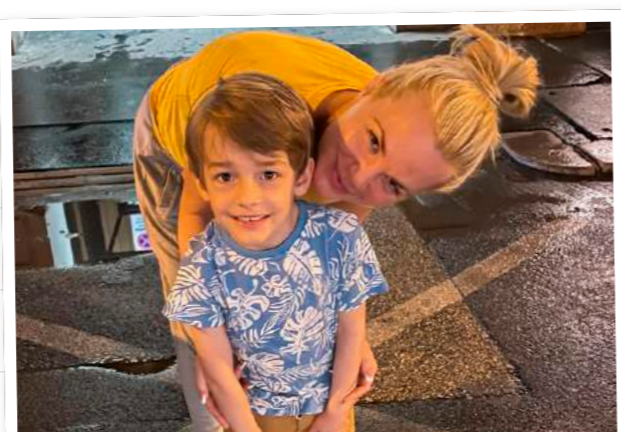
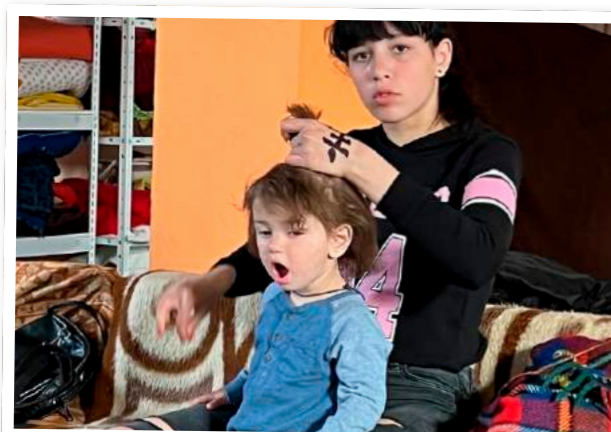
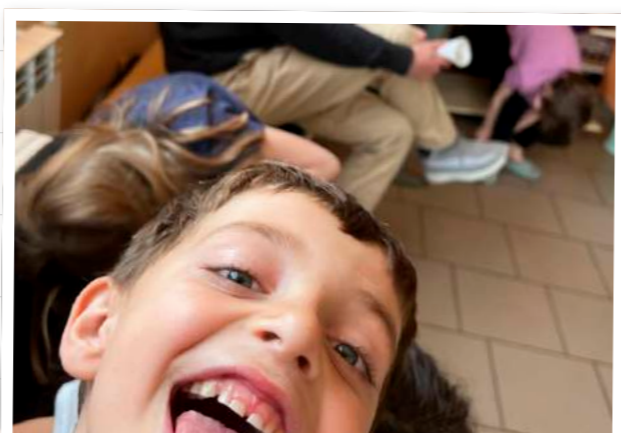
テラ・ルネッサンスは、生活の「保護」と「エンパワーメント」を両立させる、自立型の支援を目指しています。CSCsでは、難民・避難民の方々へ社会貢献の機会(炊き出しの手伝いなど)を提供し、その対価として現金を給付しています。

## 8.

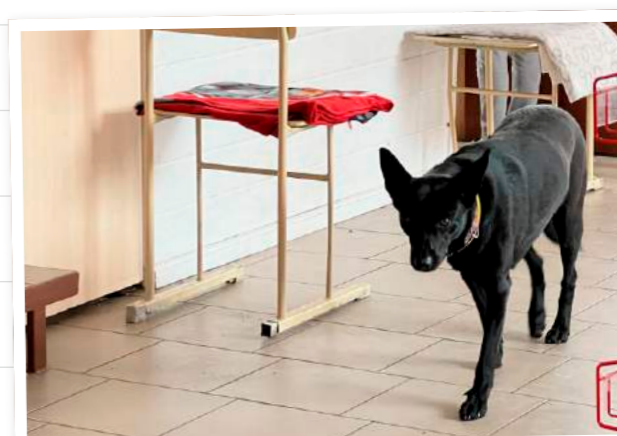
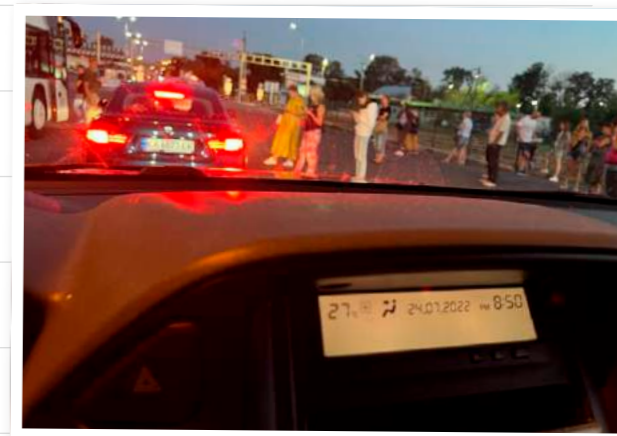
### これからの展望

ハンガリー事務所を開設し、引き続きウクライナ難民・避難民の支援を行ってまいります。緊急支援だけでなく、CSCsによる自立支援に取り組むことで、いち早く支援の手に触れ、彼女らが普通の生活を取り戻すことを目指しています。











# 幸せを願い、つながる支援の輪

## ～ウガンダからの贈り物～

「ウクライナの人々が避難先で少しでもあたたかくなれるように」と、ウガンダの元子ども兵たちがマフラーを編んでくれました。

彼ら・彼女らも、子ども時代に紛争に巻き込まれ、心身に大きな傷を負いました。しかし今は、仕事をして家族を養い、自立した生活を送っています。そんな元子ども兵たちから、ウクライナの人々へ励ましと平和への祈りを込めて、素敵なマフラーが贈られました。



ハンガリー国境地域のヘルプセンターで暮らす子どもたちに、ウガンダの元子ども兵が作ってくれたマフラーを手渡しした際の様子。

ご寄付は  
税制優遇の  
対象です

※寄付のお申込み時に「領収証の発行」をご希望ください。

ウクライナやコンゴで、紛争被害に立ち向かう人々の  
かけがえのない「いのち」と「暮らし」を守るために、  
ご支援ご協力をよろしくお願いします。

パソコン・スマホから2分で完了

テラルネッサンス 寄付

検索

